

みやもり荘だより

～社会福祉法人ともし会 経営理念～

『尊厳』『自立』『信愛』

〒028-0304 岩手県遠野市宮守町下宮守28-19-1

特別養護老人ホーム みやもり荘

TEL:0198-67-2266 FAX:0198-67-2267

☆ホームページアドレス <http://tomori-kai.jp/>

みやもり荘で新型コロナウイルス感染者多数発生



クラスター(集団感染)発生

11月22日(火)に入居者4名、ショートステイ利用者1名から新型コロナウイルスが検出されました。

1人の方から、「咳」や「声のかすれ」がみられたことから、もしかしてコロナ感染ではないかと疑い、簡易検査キットにて検査したところ、陽性のサインが出ました。すぐ、東棟(非感染エリア)と西棟(感染エリア)を区別し、職員も各棟に分かれて対応することとなりました。

案の定、翌日から翌々日にかけて入居者が次々と感染し、職員も一人また一人と感染し、西棟は既に感染しているであろうと判断せざるを得ない状況となりました。

デイサービスセンターは休業することとし、東棟入居者全員を避難することになりました。それほど、感染の勢いは強いものでした。

12月23日(金)に感染の収束が見込まれたことから、デイサービスセンターに避難していた方々は、元の部屋に戻っています。そして、12月26日(月)にはやっと感染者はゼロになりました。

※関連内容(詳細)を2ページと3ページに記載しています。

に伴う感染対策の取組み

感染確認

11月22日（火）1人の利用者が、咳や声がかすれるという症状があったことから、抗原検査を行った結果、陽性反応がありました。接触している入居者も同様に検査した結果、4名から陽性反応を確認し、感染者が5名となりました。

感染者が5名となったことから、関係機関へ連絡するとともに、ホームを東棟（非感染エリア）と西棟（感染エリア）に区別しました。発生から3日間で、入居者13名、シヨートステイ利用者3名、職員2名の合計21名に感染が広がりました。

11月25日（金）感染の勢いや職員の動きなどを考慮し、デイスービスセンターを休業して非感染エリアとし、感染が確認されない入居者を移動しています。全感染者は29名となりました。



食堂ホールに配備した消毒用のアルコール類とペーパータオル。入居者の方は、居室にて食事を摂るようにしました。

勤務が組めない

西棟（感染エリア）の陽性者が27名（シヨート含み）、職員9名となり、勤務体制が整えないことから、陽性者で症状が比較的軽い職員に対し、勤務を依頼し陽性者同士の「介護をする者、介護を受ける者」の体制を構築しました。当施設で勝手に判断することはできないことから、管轄保健所、岩手県の担当部署に確認を取りながら行いました。

自宅に戻れない職員対策

感染エリアで勤務していた職員から、自宅に帰れば、家族に感染させることとなるので、どのようにしたらいいかと相談され、別棟のシヨートステイ専用棟の部屋が空いていたことから、当面の間使ってもらおうとしました。

簡易検査キット

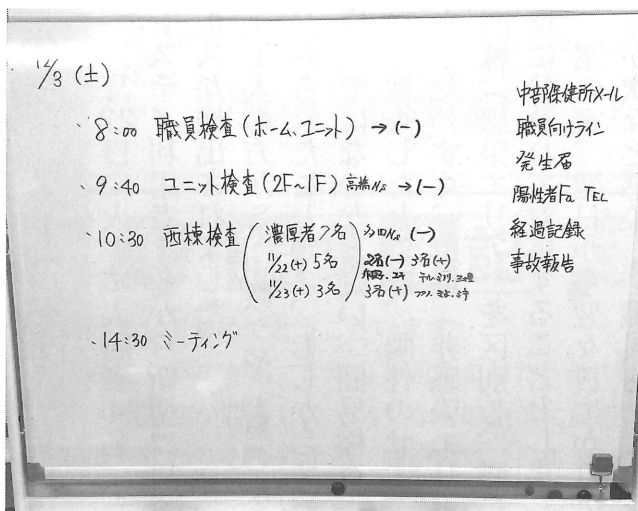
11月29日（火）ホーム職員対象に抗原検査を開始しました。鼻腔検査キットを追加購入し検査体制を充実させています。

その他にも、保健衛生材料（不織布予防衣等）が欠品しないように在庫管理に努めています。

新たな感染者なし

12月2日（金）から新たな感染者の報告がなくなりました。しかし、この時点で累計感染者数は、入居者23名、シヨートステイ9名、職員13名の合計45名になりました。その後は、入居者が数名ずつ陽性から陰性になり始め、職員も徐々に陰性となり職場に復帰し、以前のような勤務体制に戻りました。

毎日の情報は、ホワイトボードに書き込み、職員間で確認できるようにし、ミーティング内容については、スマートフォン（スマホ）で全職員に周知しています。

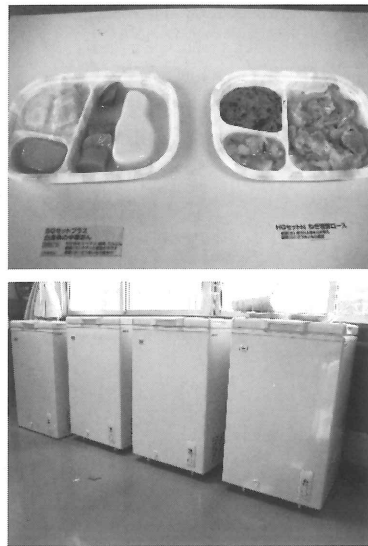


何枚ものホワイトボードに当日の情報や確認事項などを書き込んでいる。

新型コロナウイルス感染(クラスター発生)

食事提供に支障

厨房職員複数が陽性となったことから、調理業務が回せなくなり急遽冷凍食品を代替えとして使用することとしました。入居している方々の食事形態に合わせた物を提供し、冷凍されているものを厨房機器で解凍します。手作りの味とは比較できないと思いついてしまいました。大変おいしく冷凍食品も侮れないと感じました。



定期的に納品されストッカーで保管

高館の園に職員応援

障がい者支援施設においても、感染者が拡大し支援体制が整えなくなったことから、看護職1名と介護職1名を応援にあてました。以前は、みやもり荘が応援を受けていたことから、非常時における体制は整っていました。

元の部屋に戻る

12月23日(金)、デイサービスセンターに移動していた入居者の皆さんが元の部屋に戻りました。

雑居部屋のような環境でしたが、介護する職員との距離が近いことから、入居者の表情が柔らかかったことが印象的です。



上の写真はデイサービス内、下の写真は移動時

陽性者がゼロになる

12月26日(月)、発生から数えて35日目やつと陽性者がゼロになりました。累計陽性者が最大で49名でしたが、根気よく感染対策したおかげで、少しずつ少しずつ陽性者が減り、ゼロにすることができました。

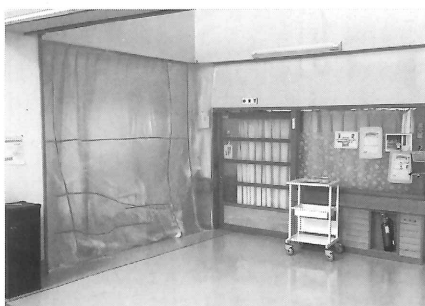
デイサービスセンター再開

12月26日(月)から、デイサービスを再開しました。利用者の皆さんは、元気に通ってくれました。今までに、このように長い期間デイサービスを休業することはありませんでした。何人かは、他の事業所を利用しましたが、大半の方はデイサービスの再開を待っていてくれました。

休業期間中、身体機能が低下するリスクもあることから、今後の対応方法が課題となります。

振返り

コロナ感染による死者3名、残念で忘れられない出来事となりました。今後、語り継いでいかなければならない事項です。陽性者になったにもかかわらず、勤務してくれた職員、全体の指揮及び入居者の健康管理のため休日返上で勤務した職員には感謝いたします。



普段は賑やかな食堂ですが、感染棟はカーテンとビニールで仕切りました。

新たな年に 備えておくべきこと

特別養護老人ホームみやもり荘

施設長 多田 浩

皆様、あけましておめでとございます。昨年は、コロナ感染対策を徹底していたにもかかわらず、クラスターを発生させてしまい、収束するまで一か月以上の時間を費やしてしまふこととなりました。入居者のご家族には、ご心配をおかけすることになり、大変申し訳ございませんでした。

今年も続くコロナ対策

コロナ感染がまだ治まりそうもないことから、今回のクラスター発生の経験をもとに、感染源を「施設内に持ち込んでしまったらどうすべきか」ということについての対策を徹底します。

当然ながら、持ち込まないことが原則ですが、インフルエンザ同様に防ぎようがないのも現状です。普段の生活をしながら感染対策

を講ずる必要があるとなれば、感染の広がり
に応じ、規制を緩めたり強めたりしていくべき
ではないかと考えています。

老人ホームにおける

生活のあり方

新型コロナウイルスの感染が確認されてから3年、施設で生活している高齢者は、コロナ感染が確認されるたびに行動制限を行ってききました。規制されるたびに、身体機能にも何らかの不具合が生じ、健康の維持が保てなくなっています。

入居している高齢者の機能を維持していくことで大切なのは、日常生活だと思えます。機能を回復するためのリハビリを高齢者に求めても、長続きしないのが現状です。このように規制を強いられるときこそ、日常生活行為を徹底して援助する必要があると感じました。

「食事」、「入浴」、「排泄」を三大介護と呼ぶと習いましたが、それに「睡眠」、「遊ぶ」をプラスした生活行為が大事だと思えます。30年も前になります。が、「生活行為に勝るリハビリはなし」という言葉を教えられました。

このような危機体制の場合は、最も当てはまることだと感じます。普段の日常行動がいかに大切か実感しましたので、実践することといたします。

娯楽と情報発信の工夫

施設で生活している高齢者の皆さんに、「楽しい時間」の提供をしばらくしていません。家族とのふれあいを筆頭に、地域の皆さんとの交流、外に出かけての買い物、コロナ禍からできないではなく、できるものを探し工夫してみようと思えます。

また、みやもり荘の皆さんが普段の生活をどのようにして過ごしているかなど、家族は気がかりだと思えますので、映像で確認できるようにホームページの中身を見直し、自分のスマホやパソコンからのぞけるように準備しています。なかなか実現できなかったことでしたが、何とか取り組んでまいります。

非常時にどのように事業を継続していく必要があるか、職員の皆で確認し合いながら事例を一つずつ積み上げていこうと思えます。今年もよろしくお願いいたします。



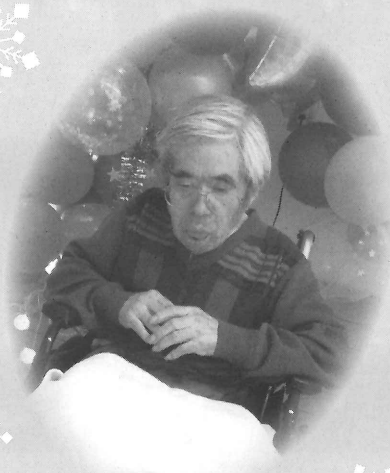
ホーム・はいポーズ



メリー
クリスマス!



あっはっはっはっ…。
はずかしいなあ。



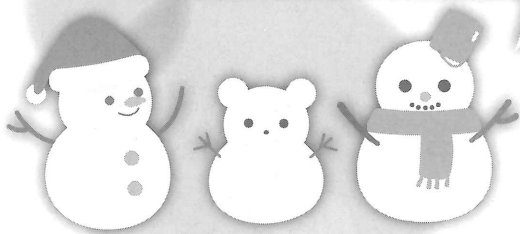
おむつ交換時に使用する、汚れなどをふき取るために使用する布ウエスを裁断してもらっています。

僕のおすすめの
2冊です。

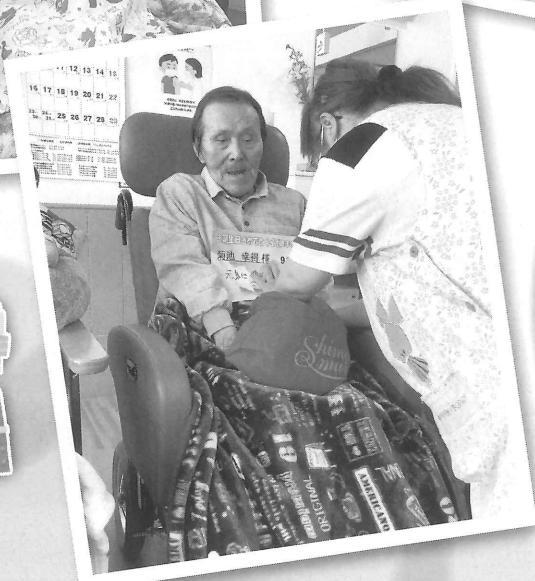


いるだけで

ユニット・はいポーズ!



10月、11月
誕生会の様子



お誕生日
おめでとうございます!



みんなで焼き芋も食べました!

デイサービス センターだより

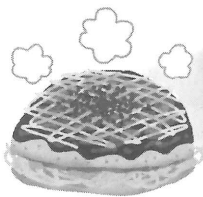
令和4年11月末現在登録状況

宮守地区 48名

鱒沢地区 25名

達首部地区 38名

合計 111名



おやつ作り



久しぶりのおやつ作り

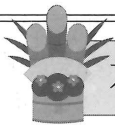
10月31日から11月5日までおやつ作りを行いました。

お好み焼き、綿あめを皆で作って食べました。新型コロナウイルスの影響で、地域行事の縮小や中止が続き外出や外食ができない方も多くなか、少しでも楽しんでもらえるよう企画しました。

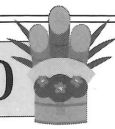
感染対策を行ないながら、利用者の皆さんに生地を混ぜてもらったり、ホットプレートで焼く作業を手伝ってもらいました。

出来立てのお好み焼きを食べた利用者からは、「久々に作って食べた。皆と食べるのは美味しい」。綿あめも「甘くて美味しかった。」と大変喜んでくれました。

今後も、皆さんに喜んでいられるような活動を企画していこうと思います。



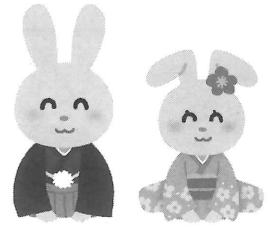
社会福祉法人ともり会の動き その150



○ 11月16日 令和4年度第2四半期出納調査（高館の園・みやもり荘）

○ 12月21日 第5回理事会を開催し、次のとおり議決されました

- ・ 社会福祉法人ともり会公印管理規程の一部改正について
- ・ 在宅介護支援センター宮守管理規程の一部改正について
- ・ みやもり荘見守りカメラ等設備設置工事請負契約の締結について
- ・ 令和4年度社会福祉法人ともり会第3回資金収支補正予算書の承認について



あたたかい おこころざし

10月	浅沼幸雄 様	玄米
	鈴木友己 様	みかん
	菅原秀一 様ご家族	雑巾
	故 多田文 様ご家族	おむつ
	配食ボランティアの皆様	
11月	めがね橋直売所 様	大根
	匿名	お米、果物
	阿部由美子 様	} ウェス
	多田幸子 様	
	柵山幸子 様	
	配食ボランティアの皆様	
12月	宮スポ 佐藤芳子 様	ウェス
	故 菅久太郎 様ご家族	タオル等
	菊池利彦 様	石鹸・タオル等
	あいおいニッセイ	
	同和損保 様	ガウン等
	中村啓子 様	椅子カバー

ありがとうございました。

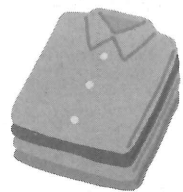
いただいた 古タオルや 衣服の使い道



当施設に寄贈された、古タオルや衣服などの布類は職員や入居者がお手伝いで裁断して下さり、ウエスとして、利用者の排泄介助時に使用しています。

写真は、入居者ご家族や近隣住民の皆様、各団体様より寄贈していただいたものです。

毎日ウエスは使用するものですので、もし、ご家庭に不要なタオルなどの布類がございましたら、寄贈していただけると大変助かります。



編集後記



あけましておめでとうございます

令和になってから、5年目を迎えました。新型コロナウイルス感染症が収束し、マスクなしの生活に戻るには、まだ時間がかかりそうですね。施設内では行事等が中止になり寂しいですが、少しでも入居者の皆様にお正月気分を味わってもらえるように工夫をして過ごしております。(IC)